
【NITEケミマガ】 NITE化学物質管理関連情報 第197号

2014/06/04配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

連絡先：chem-manage@nite.go.jp

----- 5/29～6/04までの更新情報 -----

●製品評価技術基盤機構（NITE）

【2014/05/28】

・3省(厚生労働省、経済産業省、環境省)に提案した「化審法における優先評価化学物質に関するリスク評価の技術ガイダンス(NITE案)」を追加しました。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/risk/kasinn.html#02>

下記の資料を掲載しました。

・第1章 評価の準備(平成26年5月28日公開)

●官報情報

【2014/05/30】

・環境省令「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令別表第一各号二の規定に基づく物質の有害性の程度に応じ環境大臣の定める係数の一部を改正する件(環境七一)」

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20140530/20140530g00119/20140530g001190084f.html>

標記省令が掲載された。

【2014/05/30】

・環境省令「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第五条第一項に規定する埋立場所等に排出しようとする廃棄物に含まれる金属等の検定方法の一部を改正する件(環境七二)」

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20140530/20140530g00119/20140530g001190100f.html>

標記省令が掲載された。

【2014/05/30】

・ 環境省令「国際海事機関海洋環境保護委員会の判定に基づき環境大臣が指定する物質の一部を改正する件(環境七三)」

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20140530/20140530g00119/20140530g001190101f.html>

標記省令が掲載された。

【2014/05/30】

・ 環境省令「環境大臣が海洋環境の保全の見地から有害である物質として指定する油性混合物(環境七四)」

→ <http://kanpou.npb.go.jp/20140530/20140530g00119/20140530g001190101f.html>

標記省令が掲載された。

●経済産業省・厚生労働省・環境省

【2014/05/27】

・ 平成26年度第2回薬事・食品衛生審議会薬事分科会化学物質安全対策部会
化学物質調査会 化学物質審議会第137回審査部会 第144回中央環境審議会
環境保健部会化学物質審査小委員会-議事要旨

・ 経済産業省

→ http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004475/137_giji.html

・ 厚生労働省

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000046385.html>

・ 環境省

→ <https://www.env.go.jp/council/05hoken/y051-144.html>

5月23日に開催された標記会合の議事要旨が掲載された。議題は、

(1)前回指摘事項等の確認等について

(2)新規化学物質の審議について

など。

【2014/05/27】

・ 平成25年度第1回薬事・食品衛生審議会薬事分科会化学物質安全対策部会
【第二部】 平成25年度化学物質審議会第3回安全対策部会 第137回中央
環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会 議事録

・ 経済産業省

→ http://www.meti.go.jp/committee/summary/0003776/pdf/h25_03_gijiroku.pdf

・ 厚生労働省

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000046928.html>

・ 環境省

→ <https://www.env.go.jp/council/05hoken/y051-137a.html>

平成25年10月4日に開催された標記会合の議事録が掲載された。議題は、第一種特定化学物質に指定することが適当とされたエンドスルファン及びヘキサブプロモシクロドデカンの今後の対策について、など。

● 経済産業省・環境省

【2014/05/30】

・ 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律の一部を改正する法律に係る関係省令改正案等に対する意見募集について

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?>

[CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=595114053&Mode=0](http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=595114053&Mode=0)

5月30日から6月28日までの間、標記の意見募集が行われている。

● 経済産業省

【2014/05/20】

・ 産業構造審議会 化学物質政策小委員会 第3回化学物質政策小委員会

フロン類等対策ワーキンググループ、フロン類等対策小委員会 合同会議-議事要旨、配布資料

・ 議事要旨

→ http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/seizou/kagaku/freon_wg/003_giji.html

・ 配布資料

→ http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/seizou/kagaku/freon_wg/003_haifu.html

5月15日に行われた標記会合の議事要旨、配布資料が掲載された。議題は、指針(案)について、など。

【2014/05/30】

・産業構造審議会 製造産業分科会 化学物質政策小委員会 フロン類等対策
ワーキンググループ(第5回)-議事要旨

→ http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/seizou/kagaku/freon_wg2/005_giji.html

5月27日に開催された標記会合の議事要旨が掲載された。議題は、
(1)輸送機関用空調機器及び冷凍空調機器以外のフロン類使用製品における
指定製品判断基準について
(2)指定製品における表示について
(3)フロン類製造業者に係る判断基準の考え方について
など。

●厚生労働省

【2014/05/27】

・平成25年度第1回薬事・食品衛生審議会 薬事分科会 化学物質安全対策部
会 議事録【第一部】

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000046925.html>

平成25年10月4日に開催された標記会合の議事録が掲載された。議題は、

(1)残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約の新規対象物質を化
審法第一種特定化学物質に指定することについて
(2)化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律に基づく審査状況につ
いて
など。

【2014/05/28】

・薬事・食品衛生審議会 食品衛生分科会開催案内

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000047099.html>

6月4日に標記会合が開催される。議題は、
(1)食品中の農薬等の残留基準設定について
(2)告示試験法の改定について
(3)食品添加物部の指定等について
など。

●環境省

【2014/05/20】

- ・国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ(SAICM)関係省庁連絡会議 第11回会合

→ <http://www.env.go.jp/chemi/saicm/conference.html>

5月15日に開催された標記会合の議事要旨及び資料が掲載された。

【2014/05/26】

- ・中央環境審議会 大気・騒音振動部会 微小粒子状物質等専門委員会(第2回) 議事次第・配付資料

→ <http://www.env.go.jp/council/07air-noise/y078-02a.html>

5月26日に開催された標記会合の議事次第及び配布資料が掲載された。議題は、

- (1)現象解明に向けた取組(平成26年度)について
- (2)PM2.5の越境大気汚染の寄与について
- (3)光化学オキシダントのモニタリングデータの解析結果について
- (4)光化学オキシダントの環境改善効果を適切に示す指標案についてなど。

【2014/05/29】

- ・ジフェニルアルシン酸(DPAA)等のリスク評価第3次報告書について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18220>

標記資料が掲載された。有機ヒ素化合物であるジフェニルアルシン酸(DPAA)による健康リスクについて検討した結果がまとめられた。

【2014/05/30】

- ・「水質汚濁防止法に基づく排出水の排出、地下浸透水の浸透等の規制に係る項目の許容限度等の見直しについて(報告案)」に対する意見の募集(パブリックコメント)について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18206>

5月30日から6月30日までの間、標記の意見募集が行われている。カドミウムの環境基準値の変更に伴って検討されたもの。

【2014/05/30】

・平成25年度アスベスト大気濃度調査結果について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18177>

標記調査結果が掲載された。

【2014/06/02】

・中央環境審議会 土壌農薬部会 農薬小委員会(第40回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18252>

6月17日に標記会合が開催される。議題は、

(1)水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準として環境大臣の定める基準の設定について

(2)水質汚濁に係る農薬登録保留基準として環境大臣の定める基準の設定について

など。

●農林水産省

【2014/05/28】

・農薬の審査報告書を追加しました。

・フルキサピロキサド

→ http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_sinsa/pdf/140528_fluxa_pyroxad.pdf

標記資料が掲載された。

●内閣府食品安全委員会

【2014/05/26】

・フタル酸ベンジルブチル(BBP)に係る食品健康影響評価について

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20140526ky1>

5月26日に開催された標記会合の資料が掲載された。議題は、フタル酸ベンジルブチル(BBP)に係る食品健康影響評価について、など。

【2014/05/27】

・ 第513回食品安全委員会で報告した食品安全関係情報(3月21日～4月4日収集分)について

→ http://www.fsc.go.jp/iinkai/hazard/kai20140513_513sfc.pdf

標記資料が掲載された。海外の化学物質や食品添加物、農薬など食品安全に関する情報が収集されている。

●国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)

【2014/05/29】

・ 食品安全情報(化学物質) No.11 (2014.05.28)

→ <http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2014/foodinfo201411c.pdf>

標記資料が掲載された。食品の安全性に関する国際機関や各国公的機関等の最新情報が紹介されている。

●農林水産消費安全技術センター (FAMIC)

【2014/05/28】

・ GLP適合確認申請を更新しました。

→ <http://www.acis.famic.go.jp/glp/index.htm>

標記資料が掲載された。

【2014/05/28】

・ 農薬登録申請を更新しました。

→ <http://www.acis.famic.go.jp/shinsei/index.htm>

標記資料が掲載された。

【2014/05/29】

・ [メールマガジン]バックナンバーに第535号を掲載しました。

→ http://www.famic.go.jp/mail_magazine/backnumbers/No535.pdf

標記資料が掲載された。

【2014/05/30】

- ・ 農薬登録情報ダウンロードを更新しました。

→ <http://www.acis.famic.go.jp/ddata/index.htm>

標記情報が掲載された。

● 中小企業基盤整備機構

【2014/05/30】

- ・ [J-Net21]RoHS コラム:EU製品規則の実施に関する「ブルーガイド」の概要

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/rohs/column/140530.html>

標記コラムが掲載された。

【2014/05/30】

- ・ [J-Net21]REACH Q.429:REACH規則に基づく可塑剤DEHP、DBP、BBPの規制状況について

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/qa/429.html>

標記Q&Aが掲載された。

● 欧州化学品庁 (ECHA)

【2014/05/23】

- ・ Board of Appeal's press release: Board of Appeal's latest decision considers ECHA's use of languages in communicating with a registrant

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/board-of-appeals-latest-decision-considers-echas-use-of-languages-in-communicating-with-a-registrant

ECHAは、Case A-002-2013に対する上訴委員会の決定において、REACH規則に基づく登録者とECHAとのやり取りで採用される言語規定に関連した判断が下ったことを発表した。

【2014/05/28】

- ・ ECHA publishes three Transitional Guidance documents concerning biocides

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/echa-publishes-three-transitional-guidance-documents-concerning-biocides

ECHAは、殺生物性製品に関する暫定的な3つのガイダンス文書を公開した。このガイダンス文書では、製品類型21:防汚製品の効能評価、保存剤の効能評価、環境中の殺生物性製品の複合毒性の評価について掲載されている。

【2014/06/02】

・ Progress in the use of alternatives to animal testing

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/reach-report-on-alternatives-to-animal-testing-press-release

ECHAは、REACH規則に基づく登録データを解析し、事業者の非動物試験データの利用状況について発表した。多くの登録者は、試験データの共有義務の遵守、in vitroデータの活用、カテゴリーの構築やリードアクロ手法を用いた予測等を実施している。

【2014/06/02】

・ ECHA calls for information to avoid unnecessary animal testing

→ <http://echa.europa.eu/information-on-chemicals/testing-proposals/current>

ECHAは、不必要な動物試験を回避するため以下20物質に対する合計43件の試験情報の提出を要請した。コメントの提出期限は、7月17日。

- ・ 4,4'-Isopropylidenedicyclohexanol, oligomeric reaction products with 1-chloro-2,3-epoxypropane(CAS:30583-72-3)
- ・ Hydrocarbons, C14-C17, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics(CAS:なし)
- ・ diisodecyl sebacate(CAS:28473-19-0)
- ・ potassium tetrafluoroborate(CAS:14075-53-7)
- ・ sodium N-(2-carboxyethyl)-N-(2-ethylhexyl)-β-alaninate(CAS:94441-92-6)
- ・ 2-Propenoic acid, (1-methyl-1,2-ethanediyl) bis[oxy(methyl-2,1-ethanediyl)] ester, reaction products with diethylamine(CAS:111497-86-0)
- ・ 2-ethylhexyl benzoate(CAS:5444-75-7)
- ・ 4,4'-Isopropylidenediphenol, oligomeric reaction products with 1-chloro-2,3-epoxypropane, reaction products with fatty acids, C18-unsatd., dimers(CAS:67989-52-0)
- ・ Bis(2-chloroethoxy)methane 1,15-dichloro-3,5,8,11,13-penta-oxa pentadecane 1-(2-chloroethoxy)-2-(2-chloroethoxymethoxy)ethane(CAS:なし)
- ・ Copolymer of acetonoxime and 3-isocyanatomethyl-3,5,5-trimethylcyclohexyl isocyanate(CAS:1001254-87-0)

- ・ Reaction product of 2,4-Dinitrotoluene and 2,6-Dinitrotoluene and hydrogen(CAS:なし)
- ・ 2,2,4(or 2,4,4)-Trimethylhexane-1,6-diisocyanate(CAS:32052-51-0)
- ・ 2-Butenedioic acid (Z)-, ester with 1,2-propanediol, compd. with 2-(dibutylamino)ethanol(CAS:85204-10-0)
- ・ 3-((C9-11-iso,C10-rich)alkyloxy)propan-1-amine(CAS:なし)
- ・ 3-((C9-11-iso,C10-rich)alkyloxy)propan-1-amine acetate (1:1)(CAS:なし)
- ・ Decene, hydroformylation products, high boiling(CAS:なし)
- ・ calcium bis(di C8-C10, branched, C9 rich, alkylnaphthalenesulphonate)(CAS:なし)
- ・ octene(CAS:25377-83-7)
- ・ Reaction Mass of Cis-4-(isopropyl) cyclohexanemethanol and Trans-4-(isopropyl) cyclohexanemethanol(CAS:なし)
- ・ 1,1,3,3-tetramethylbutyl peroxyneodecanoate(CAS:51240-95-0)

●米国環境保護庁 (US EPA)

【2014/05/15】

- ・ EPA Proposes Updates to Emissions Standards for Refineries to Protect Nearby Neighborhoods/Proposed steps will protect public health and improve air quality

→ <http://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/d0cf6618525a9efb85257359003fb69d/d9554914cca0320685257cd9004a2ec4!OpenDocument>

米国EPAは、精油所周辺の大気汚染防止と住民の健康保護のため、精油所の排出基準の強化を予定していることを公表した。

【2014/05/16】

- ・ EPA Hosts Public Information Sessions about Lead-Based Paint, Renovations and Health in New Haven, Connecticut

→ <http://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/d0cf6618525a9efb85257359003fb69d/67fced98b05bce8b85257cda00669ac1!OpenDocument>

米国EPAは、住宅や学校施設の改修工事の際の鉛含有塗料による鉛曝露を防ぐための修正規則を導入し、規則内容を周知するための会合を実施すると発表した。

【2014/05/28】

- ・ EPA Solicits Comments on Information Collection Activities Relating to Pesticide Drift Reduction Technologies
→ http://www.epa.gov/oppfead1/cb/csb_page/updates/2014/spraydrift-techno.html

米国EPAは、スプレー散布による農薬のドリフトを低減する技術に関する情報を求めている。情報の提出期限は、6月27日。

●米国学術研究会議（NRC）

【2014/05/27】

- ・ Review of the Environmental Protection Agency's State-of-the-Science Evaluation of Nonmonotonic Dose-Response Relationships as they Apply to Endocrine Disruptors
→ http://www.nap.edu/catalog.php?record_id=18608

NRCは、米国EPAが取りまとめた毒性試験及び評価手順のレビュー内容に対するコメントをレポートの形で公表した。内分泌かく乱物質に見られるnonmonotonic dose-response(NMDR)について、一般的な毒性試験ではフォーカス外の生物学的効果として整理される懸念に対して取りまとめられたもの。

●環境展望台：国立環境研究所

【2014/05/26】

- ・ オランダ国立公衆衛生環境研究所、持続可能な埋立処分場の実現に向け浸出水による土壌・地下水汚染の新たな評価枠組みを策定
→ <http://tenbou.nies.go.jp/news/fnews/detail.php?i=13558>

オランダの国立公衆衛生環境研究所(RIVM)とエネルギー研究センター(ECN)は5月16日、廃棄物埋立処分場の持続可能な管理の実現に向け、埋立処分場の浸出水による土壌・地下水汚染の新たな評価枠組みを策定した。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

- 【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。
→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>
- 配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。
→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html
- 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして

配信停止手続きをしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html

- ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

chem-manage@nite.go.jp

- ・【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする場合に限り、自由に行って頂いて構いません。
- ・組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまでお問い合わせください。

→ chem-manage@nite.go.jp

- ・発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター